

# 緑区を知るための50冊



緑区のマスコットキャラクター  
みどりっち

## はじめに

今年（平成25年）、緑区は区政50周年を迎えました。

そこで、緑・徳重図書館では、この50周年にちなみ、緑区の過去・現在を50冊の本であらわしてみました。これらの本を通じ、過去から現在をふり返し、新たな未来の展望をえるための一助になればと思います。

緑・徳重図書館長

## 凡例

- ・リストは、テーマ名、本のデータ（書名、著者名、発行者、刊行年、タイトルコード、分類番号の順）、解題で構成されています。
- ・とりあげた本は、名古屋市図書館が所蔵しています。
- ・番外として緑区を知るために必要な叢書、機関紙、新聞、行政資料をとりあげました。
- ・なお、詳細は図書館へお問い合わせをお願いします。

## 1 名古屋市一通史

### 新修名古屋市史

本文編 全10巻 資料編 既刊11巻  
新修名古屋市史編集委員会／編集  
名古屋市 1997刊行中 <A25>

市政100周年記念として編纂開始され、2001年に本文編10巻が完結する。引続き資料編の刊行が現在も続いている。名古屋市全域の通史だが、緑区に関する記述も多い。図・表・写真を多用して、わかりやすく書かれている。

## 3 緑区一通史②

### 緑区の歴史

榊原邦彦／著  
愛知県郷土資料刊行会 1984  
1009310047674 <A25>

緑区の歴史を原始時代から近代まで収めた概説、各史跡を紹介した各説からなる。各説は「緑区民新聞」の「郷土史散歩」をもとに構成。鳴海在住の郷土史研究者による書。

## 2 緑区一通史①

### 緑区誌(区制20周年記念)

緑区区制20周年記念区誌編纂委員会／編  
名古屋市緑区役所 1983  
1009210160962 <A25>

緑区の沿革、写真で見る緑区、行政と事業の3本立て。緑区の過去の写真を見ることができる。行政機関をとりあげているのも特徴。区内の学校紹介・年表つき。

## 4 緑区一通史③

### 緑区の史蹟

榊原邦彦／著  
鳴海土風会 2000  
1009912019676 <A25>

東海道の四十番目の宿・鳴海。鳴海地区を分割し地域ごとに史蹟を紹介。ほか大高・桶狭間・有松の史蹟もとりあげ、地名辞典も収録。『緑区の歴史』に収録できなかった記事中心。郷土史研究会創立60周年記念誌。

## 5 緑区一通史④

### 緑区のおゆみ 新版

緑区ルネッサンスフォーラム／編集  
緑区ルネッサンスフォーラム 2012  
1001210027568 <A25>

区民公募で誕生した「緑区ルネッサンスフォーラム」。たゆまぬ調査研究活動をもとに、緑区の歴史をわかりやすくまとめたもの。『緑区の歴史』と一味違う歴史物語が楽しめる。

## 7 有松地区の歴史

### 有松町史

有松町史編纂委員会／編  
有松町 1956  
1009510038217 <A25>

有松と桶狭間、二つの大字を含む有松町。町制60周年を記念して編纂された。村の起源から発展、合併の歴史を有松絞りの発展とともに紹介。装丁にも有松絞りが使われている。

## 6 鳴海地区の歴史

### 尾張国愛知郡鳴海村誌

明治十二年一月編輯  
山口輝雄 2003  
101009913051526 <A25>

明治12年、当時の鳴海村の概要を書いた村誌の写し。名古屋市市政資料館所蔵の「愛知郡村誌」より鳴海村部分を写した上段、解説説明を書いた下段の二段組。巻末には明治24年と平成15年の現況図もあり。

## 8 大高地区の歴史

### 大高町誌

大高町誌編纂委員会／編  
大高町 1965  
1009210002432 <A25>

大高町は昭和39(1964)年に名古屋市に合併された。昭和29年に町制60周年を記念して編纂が始まった本誌には、原始時代から町制、名古屋市合併までの歴史や大高町の自然・産業などが載っている。

## 9 縄文遺跡

### 愛知の縄文遺跡

名古屋博物館／編集

名古屋博物館 2004

1009914060136 <A20>

緑区は古くから人々が住んでいた  
ので、縄文遺跡も数多く存在する。  
雷貝塚は全国的によく知られている  
が、本書はこれを含めて区内の遺跡  
を多く紹介する。なお、『新修名古屋  
市史』資料編考古は、区内の遺跡  
を網羅的にコンパクトに紹介してい  
るので、併せて参照を。

## 11 あゆち潟(万葉集)

### 万葉集 1

佐竹昭広／校注

岩波書店 2013

1001210104148 <91112>

あゆち潟は名古屋市の南部、熱田  
区南東部から緑区大高・東海市北部  
にかけての地域といわれ、遠浅の海  
が広がっていた。その情景をよんだ  
のが、万葉集の「桜田へ鶴(たづ)鳴  
き渡る年魚市(あゆち)潟潮干(しお  
ひ)にけらし鶴鳴き渡る」で、よく  
知られている。

## 10 緑区の神社

### 緑区神社誌(なるみ叢書 第24冊)

榊原邦彦／著

鳴海土風会 2005

1009916014514 <A17>

緑区的神社について、今と昔の神  
社を網羅的に解説している。特に文  
献にあたって昔の神社について述べ  
たものは類書が少ない。同著者によ  
る『緑区の史蹟』(鳴海土風会出  
版)に記されているものは省かれて  
いる。口絵に主要な神社の白黒写真  
8枚あり。

## 12 古窯址

### 徳重西部地区画整理事業予定地

内所在 埋蔵文化財発掘調査報告

名古屋教育委員会／編

名古屋教育委員会 1976

1009210057417,1009210059007(2分冊)

<A25>

愛知県は古くから、窯業が栄えて  
いた。緑区でも古代を中心として盛  
んに焼物が作られ、一部は当時の都  
へも運ばれた。本書は、区内で名古  
屋市が調査した報告書の最初期のも  
の。これ以降多くの調査がなされ、  
報告書が刊行されている。

## 13 鳴海廃寺

### 緑区鳴海町本町鳴海廃寺発掘調査

概要報告書 圓龍寺・東海銀行地点

名古屋教育委員会／編

名古屋教育委員会 1985

1009310030715 <A25>

区内からは、古代寺院の跡が見つ  
かっている。鳴海町根古屋付近か  
ら、寺院瓦類等が出土し、8世紀後  
半の寺院跡と推定され、鳴海廃寺と  
よばれている。大高町にも西大高廃  
寺がある。

## 15 鳴海潟(中古中世和歌)

### 新編日本古典文学全集 43

小学館 1995

1009510002657 <918>

熱田の南東、鳴海の西方は干潟が  
ひろがり、鳴海潟とよばれ、平安中  
期以後の尾張の歌枕として多くの歌  
がよまれてきた。「鳴海の海」「鳴  
海の浦」とも呼ばれていた。新古今  
和歌集には「さ夜千鳥声こそちかく  
なるみ潟かたぶく月に潮やみつら  
ん」という和歌がある。

## 14 更科日記

### 新編日本古典文学全集 26

小学館 1994

1009410228794 <918>

古代末期の一貴族女性の菅原孝標  
の女(むすめ)が書いた、自伝的物  
語。生い立った東国から都へ向かう  
道中に、鳴海が登場する。潮の干満  
の差が激しいため、急いで通り過ぎ  
たという。当時の街道の難所の一つ  
だったらしい。

## 16 中世日記類

### 新日本古典文学大系 51

岩波書店 1990

1009410104917 <918>

中世には緑区は都と東国を結ぶ大  
動脈にあたっていた。往還した人の  
なかに記録を残した者がいる。本書  
は、そのような「海道記」「東関紀  
行」「十六夜日記」などの日記・道  
中記を収録している。これらの記述  
から当時の様子をうかがうことがで  
きる。

### 17 鎌倉古道

鎌倉街道 幻の古道 増補改定  
片山鍾一／[著]  
片山鍾一 2002  
1009915030630 <A68>

平安から戦国時代にかけて、京都から鎌倉へゆく街道があり、鎌倉街道とよばれていたが、緑区内も通過していた。本書はその痕跡を丹念にたどり、写真と地図によってわかりやすく説明している。

### 19 桶狭間の合戦②

桶狭間の戦い 戦史ドキュメント  
小和田哲男／[著]  
学習研究社 2000  
1009910035646 <21047>

膨大な資料に基づき歴史の真実を徹底検証する戦史ドキュメントシリーズの一冊。ドキュメントタッチで歴史の真実を描き出す。著者は戦国史の研究者。

### 18 桶狭間の合戦①

愛知県史 資料編11(織豊 1)  
愛知県史編さん委員会／編集  
愛知県 2003  
1009913019545 <A20>

永禄3(1560)年、織田信長は少数の軍勢で、今川義元の大軍を破り、天下統一の足がかりを得た。世に名高い「桶狭間の合戦」である。緑区もその舞台になっている。本書は、その合戦の史料で、基本的なものを集成する。

### 20 桶狭間の合戦③

空白の桶狭間  
加藤広／著  
新潮社 2009  
1000810155836 <F>

織田信長を主役にした小説はたくさんある。山岡荘八、司馬遼太郎、津本陽など。そこには当合戦も描かれているが、桶狭間の合戦を主題にした小説は、あまりない。本書は、これをメインにして、歴史の空白から埋もれた真実を炙り出す歴史ミステリーになっている。

### 21 桶狭間の合戦④

桶狭間の合戦  
加来耕三／企画・構成・監修  
ポプラ社 2008  
1000710006465 <21>

児童向けとして、マンガによって桶狭間の合戦を描く。タッチが現代的なところがおもしろい。

### 23 緑区の古城跡①

愛知県史蹟名勝天然記念物調査報告 第3巻  
愛知県／著  
愛知県郷土資料刊行会 1974  
1009210040913 <A29>  
(大正12年—昭和17年発行の復刻版)

区内には戦国時代の城砦跡がたくさんある。国史跡の大高城跡、鷺津・丸根砦跡が、よく知られている。本書は戦前の調査の報告書で近代的調査のさきがけとなるものである。戦後は、名古屋市により鳴海城跡、丹下砦跡等が、考古学的に調査され、報告書が発行されている。

### 22 桶狭間の合戦⑤

おけはざまの歴史  
桶狭間古戦場保存会「おけはざまの歴史」編集委員／編集  
名古屋市緑区役所区民生活部まちづくり推進室 2011  
1001210122134 <A20>

緑区の桶狭間古戦場保存会が編集した小冊子。カラーで分かりやすい内容にまとめている。ゆるきゃらの「おけわんこ」がかわい。

### 24 緑区の古城跡②

古城の風景 7  
(桶狭間合戦の城)  
宮城谷昌光／著  
新潮社 2010  
1001010055174 <9156>

著者は、蒲郡出身の作家で、一時名古屋にも住んでいた。中国の歴史小説を多く書いているが、本書は、愛知県内の古城跡をめぐる紀行文で、緑区関係では、大高城、鳴海城、丸根砦、善照寺砦を訪ねている。

## 25 司馬遼太郎と緑区

街道をゆく 43 (濃尾参州記)  
司馬遼太郎／著  
朝日新聞社 1998  
1009710076380 <9156>

司馬遼太郎が「街道をゆく」という連載で、国内を始め海外まで探訪した歴史紀行。緑区内は死の直前に訪れ、最後の単行本となった。

一行が緑高校の高台から遠望している写真があり貴重。

## 27 下里家

下里知足の文事の研究 第1部  
(上・下)  
森川昭／著 和泉書院 2013  
上:1001210109526  
下:1001210109530 <A91>

鳴海で醸造業を営み、蕉門の俳人でもあった下里知足が寛文8(1668)年から元禄17(1704)年にかけて書いた日記を翻刻したもの。当時の生活や政治・経済などあらゆる方面にわたる貴重な記録となっている。

## 26 豊臣家

豊臣家の人々 新装版  
司馬遼太郎／[著]  
角川書店 2008  
1000710018323 <F>

豊臣秀吉にまつわる人々に、スポットライトを当てた短編集。第一話「殺生関白」では、秀吉の義理の兄となったが故に、突然武士の身分を与えられた大高村の農夫・弥助一の子・のちの関白秀次を描く。

## 28 松尾芭蕉①

芭蕉連句集  
松尾芭蕉／著  
岩波書店 1975  
1009410246997 <9113>

芭蕉が一座した連句のうち、貞享期以降晩年に至るまでの歌仙形式を集めたもの。なかでも「千鳥掛」には、貞享4(1687)年に知足を始めとした鳴海の俳人たちと詠んだ連句が収録されている。

## 29 松尾芭蕉②

新編日本古典文学全集 71  
(松尾芭蕉集2)  
小学館 1997  
1009710034820 <918>

収録作「笈の小文」は、芭蕉が貞享4(1687)年10月から翌5年4月までの6カ月にわたる旅を素材にした紀行文である。それによると、鳴海の地に滞在し、「星崎の關を見よとや啼千鳥」とよんだとされている。この地を訪れた芭蕉の足跡をたどることができる一冊。

## 31 絵図(名勝古跡)

尾張名所図会 上巻  
愛知県郷土資料刊行会／編  
愛知県郷土資料刊行会 1970  
1009210020728 <A294>

尾張の名勝古跡を図説している地誌の復刻版。緑区内では、鳴海瀉や瑞泉寺、氷上(姉子)神社などが紹介されており、その地を題材にしてよまれた歌も多く引用されている。

## 30 絵図(東海道)

東海道分間延繪圖 第15巻  
東京美術 1983  
1009210160726 <29103>

東京国立博物館で所蔵しているものの復刻版。江戸時代、街道の管理のために作られた詳細な絵地図。建造物としては問屋や寺社、橋などが丹念に描かれており、当時東海道の宿場であった鳴海宿近辺の様子が分かる。

## 32 絵図(村)

天保の村絵図緑区域解説版  
山口輝雄 2006  
1009916060763 <A25>

天保12(1841)年の村絵図を解説つきで掲載。左頁に当時の地名、右頁に現在の地名を絵図に重ねており、見開きでわかりやすい。他に地名の解説、『尾張徇行記』に記載された当時の村の様子も紹介している。

### 33 町並み

有松町並み保存地区歴史的遺構  
調査報告書  
名古屋市教育委員会文化財課／企画  
名古屋市教育委員会 1996  
1009610025816 <A52>

土地区画整理事業等により失われるであろう町並みや歴史的遺構等を後世に継承していくために、事前にそれらを整理、記録した報告書。400年余りの歴史を重ねてきた有松の現況（調査当時）を多数の図や写真で表している。

### 35 工芸(有松・鳴海絞り)

有松志ぼり 改訂版  
有松絞技術保存振興会／編  
有松絞技術保存振興会 1979  
1009410246798 <A58>

緑区の伝統的手工芸品「有松絞り」が考案された17世紀初期からこの本が刊行される昭和50年頃までの有松絞り業界沿革史。有松絞りの歴史や伝統のみならず、豊富な写真や図解を用いて、絞り加工の技法も詳しく解説。

### 34 文学(東海道中膝栗毛)

新編日本古典文学全集 81  
(東海道中膝栗毛)  
小学館 1995  
1009510005527 <918>

ご存じ「やじきた」珍道中。第五編のうち、有松から鳴海宿に至る部分では、名物・絞りに題材を取り、ひやかしに値を尋ねる弥次さんと、将棋に夢中で商いに身の入らない亭主のやりとりを滑稽に描く。

### 36 農業(鳴海小作争議)

鳴海小作争議をさぐる  
大嶋光義／文  
中部日本教育文化会 2003  
1009913065308 <A61>

大正時代、鳴海を中心に地主と小作人の争議が勃発。京都帝国大学法学部教授、雉本博士の支援もあり、小作人側は6年余の長きに渡り団結を崩さず、全国の注目を集めた。この「鳴海小作争議」を、少年たちを主人公にして、わかりやすく小説風に紹介。

### 37 雉本朗造

評伝雉本朗造  
堀崎嘉明／著  
風媒社 2006  
1009916031002 <A289>

1917年に開始された鳴海小作争議において小作人側を支援した人物がいる。それが当時京都帝国大学教授であった雉本朗造である。争議が続くさなか、謎の死を遂げた彼の生涯はどのようなものであったか。この地に生きた彼の先祖の営みとともに描く。

### 39 祭事(江戸時代)

名古屋叢書三編 第5巻  
(尾張年中行事絵抄 上)  
名古屋市蓬左文庫／編集  
名古屋市教育委員会 1988  
1009410043656 <A08>

江戸時代の尾張各地の年中行事を彩色の絵と文章で記録したもの。鳴海の如意寺の地藏祭において仏前に蛤を供えている様子や、鳴海神社祭で扇川御船流之式を行っている様子が描かれている。詞書を翻刻した「解説編」を用いると読みやすい。

### 38 鳴海球場

名古屋鉄道社史  
名古屋鉄道株式会社社史編纂委員会／編  
名古屋鉄道 1961  
1009210004428 <A68>

愛知電気鉄道（現名古屋鉄道）が昭和2年に鳴海町地内に建設したのが鳴海球場である。今はもうないが、昭和11年に日本最初のプロ野球が行われていたことは有名。掲載頁は少ないが、野球の歴史のひとコマが描かれている。

### 40 祭事(山車)

緑区の祭礼と山車の調査報告  
芝隆史／著  
名古屋市緑区役所 1996  
1009710003856 <A38>

緑区役所発行の報告書。山車の歴史、愛知県内の山車の概況などから緑区の神社の略史、祭礼行事の歴史や現状など網羅。参考文献も充実している。

#### 41 祭事(大人形)

##### 大人形への祈り

一息災と豊穰を願う一

名古屋市博物館／編集

名古屋市博物館 1997

1009710003842 <A38>

名古屋市内でも、緑区と南区に特化して残る、2メートルをはるかに超す祭礼人形「大人形」をテーマとした展覧会の図録。豊富な写真と解説で、その実態や目的、各地に残る類似の祭りなどを紹介。

#### 43 伝説・民話(児童向け)

##### 牛をもち上げた男(親子で楽しむ あいちのむかしばなし 2)

愛知県小中学校長会／[ほか]編集

愛知県教育振興会 1997

1009710049834 <A38>

愛知県各地の昔話や伝説を集めた親子で楽しむ昔話集。お話の舞台の解説も詳しい。緑区の伝説としては、鳴海町作町にある如意寺が舞台で、村人を青おにから救った「はまぐりじぞう」を収録。

#### 42 伝説・民話

##### 緑区の伝説と民話

名古屋市緑区役所／編

名古屋市緑区役所 1984

1009310028359 <A38>

名勝史跡の数々には、それにまつわる伝説やいわれが残っている。この資料には、緑区で伝えられてきたそれらを短くまとめたものが掲載されている。生活様式の変化から、語り継がれることが少なくなってきた民話を知ることができる。

#### 44 現代の小説

##### 名古屋大通り公園殺人事件

木谷恭介／著

ワンツーマガジン社 2007

1009917048938 <F>

主人公は有松絞りの老舗の一人娘。市の保存地区に指定された江戸時代の町並み、広い土間や太い梁をしつらえた旧家の様子が出てくる。有松絞りの歴史や藍染めの技術が物語にアクセントを添える。『名古屋殺人事件』の改題。

#### 45 美術

##### 名古屋のフォト・アヴァンギャルド

一名古屋市美術館常設企画展一

名古屋市美術館／編集

名古屋市美術館 1989

1009410086680 <7406>

名古屋市美術館にて行われた展覧会の図録。鳴海出身の画家、下郷羊雄の写真作品を垣間見ることができる。1940年に刊行された前衛写真集『メセム属』が紹介され、下郷自身による解説ページも掲載されている。

#### 47 企業

##### 鳴海製陶半世紀の歩み

鳴海製陶 1997

1001110032868 <A57>

緑区内には世界的に有名な企業がある。その一つが、陶磁器会社「鳴海製陶」である。戦後の混沌とした時代の中で誕生し、製陶技術の向上と独自の商品開発を行ってきた企業の歴史と未来へのビジョンが詰まった一冊。

#### 46 自然

##### 名古屋市緑区の名木 [改訂版]

(生きている文化財をたずねて10)

名古屋市みどりの協会 2006

1001210045295 <A65>

歴史深い緑区に現存する多くの名木古木のうち、16本を紹介した冊子。昔から今日まで多くの人たちの往来を見続けてきた古木たちは、まさに「生きている文化財」である。

#### 48 行政

##### 緑区区政運営方針 平成25年度

名古屋市緑区役所 2013.序

1001310043295 <A318>

充実した区民生活を目指して、緑区の現状や地域の課題、それに対する行政の取り組み目標や事業をコンパクトにまとめた冊子。平成25年度版には、「緑区50年のあゆみ」や「みどりっちのうた」も収録。

## 49 生活①

緑区子育てマップ No. 5  
みどり子育て応援団／編集  
みどり子育て応援団 2011  
1001110113821 <A599>

公園などのあそび場をイラスト付きで多数紹介。遊具やベビーカーの出入りしやすい箇所などがわかりやすい。駅のトイレ情報、子育てサークル、医療機関、幼稚園や保育園、託児施設など、子育てに必要な情報がきめ細かく掲載されている。

## 50 生活②

たまり場マップ 熊の前学区版  
緑区たまり場マップづくりプロジェクト  
2013  
1001310033975 <A369>

地域の人たちが気楽に集まって活動している場所を紹介。それぞれのたまり場の場所、活動実施日、連絡先、活動内容などが紹介されている。学区ごとに作成され、順次刊行中。

## 番外① なるみ叢書

愛知県内での郷土史研究会としては最古といわれている鳴海土風会が発行している緑区の郷土史に関する単著のシリーズ。1961年に発行が始まり、2009まで27冊刊行している。緑区の郷土史の百科全書といえる。

### 既刊書目

- 1 鳴海町瑞泉寺山門 附瑞泉寺歴史の一部
- 2 鳴海宿信高騒動記録
- 3 鳴海旧記
- 4 大日本国郡誌編輯材料
- 5 鳴海宿本陣交代に関する古記録 | 古書に記された「鳴海」
- 6 鳴海と芭蕉翁 | 鳴海蕉門瑣言
- 7 此君園家訓・此君園漫筆
- 8 愛知県愛知郡鳴海町小作争議史概要
- 9 住宅営団（同潤会）誘致日誌 |  
自昭和十五年九月二十八日至昭和十九年十二月二十七日
- 10 黎明期の鳴海
- 11 法学博士雉本朗造先生小伝
- 12 細根山小山園考
- 13 鳴海の翁忌俳諧
- 14 泉谷亮光上人伝
- 15 古代の鳴海地方考
- 16 鳴海、名市合併騒擾記
- 17 北川孟虎の研究
- 18 鳴海茶話
- 19 鳴海宿書上帳
- 20 鳴海名所図会
- 21 桶廻間合戦図会
- 22 桶廻間合戦写真集
- 23 鳴海八幡宮誌
- 24 緑区神社誌
- 25 鳴海の芭蕉
- 26 東尾張歌枕集成
- 27 高嶋箆川翁詩集



番外② 郷土史研究の機関紙

緑区は古来より人が住み、永い歴史を持つ区である。それを反映して、郷土史の研究が盛んである。これほどまでも多くのグループが活動している区は珍しい。ここでは、その機関紙を紹介する。

奈留美

土風会 1939年創刊  
15号（1992）まで

あゆち潟

「あゆち潟」の自然と歴史に親しむ会

有松

有松まちづくりの会

幹

有松まち普請の会

緑区の歴史を学ぼう会会報

緑区の歴史を学ぼう会

緑歴史ひろば

緑区ルネッサンスフォーラム

ほだかの里だより 大高歴史の会

会報  
大高歴史の会

番外③ 緑区の地域新聞

全国紙にはさみこみのかたちで、配布される地域紙がある。一般紙には載らないローカルな話題が掲載されていて、貴重な記録となっている。

（ここに紹介した新聞のバックナンバーの一部は、緑図書館で保存している）

月刊グリ(月刊)

1999.8～2007.11

緑区ホームサービス(月2回)

1976. 9～刊行中

緑区民新聞(週刊)

1947(なる美新聞)～1963.4(緑区民新聞と改題)  
～1992.9

みどり(月刊)

1972.11～1982.3

番外④ 行政資料

資料名	発行者
名古屋市緑区大高町菩薩遺跡発掘調査の概要 第3次	名古屋市教育委員会
緑区鳴海町小坂ドンドン塚発掘	名古屋市教育委員会
古窯跡発掘調査報告書	名古屋市教育委員会
緑区NN-278号	
緑区NN-282号	
緑区鳴海町黒石NN-314号	
緑区鳴海町通曲NN-268号	
緑区鳴海町亀ヶ洞NN311	
緑区の考古遺跡	名古屋市教育委員会
緑区の史跡と文化財	名古屋市緑区役所
緑区史跡散策路	名古屋市緑区役所
エコマップ(有松、徳重、鳴海)	名古屋市緑区役所区民生活部まちづくり推進室
緑区制三十周年記念誌	緑区区制施行30周年記念事業実行委員会
緑区古蹟	名古屋市緑区役所
ようこそ名古屋へ!暮らしの便利帳	名古屋市
緑区の世帯数と人口 平成24年	名古屋市緑区役所総務課統計選挙係
Green Teen's 緑区の中高生のための情報誌	名古屋市緑区児童館
天白川洪水ハザードマップ	名古屋市消防局防災部防災室
名古屋市土砂災害危険箇所図 [2003年] 南部	名古屋市緑政土木局河川部河川計画課
旧東海道有松町並み現況写真一覧	名古屋市教育委員会
いざ!東海道(DVD)	名古屋市緑区役所

2013年11月

名古屋市緑図書館・徳重図書館発行

(この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。)